

異動職員の紹介

辞令

市民憲章唱和

1 あいさつ

2 会長・副会長選出

3 協議事項

(1) 平成26年度博物館事業報告

【事務局説明】

(委員)

8頁の展示活動の「アップレ！宮大工」は、予定されていたままの会期が記載されている。一週間短縮されたのが反映されていないのではないか。

(事務局)

正しくは3月29日までである。

(委員)

18頁の見学学習について、南部小学校の2年生が10月に来ているが、どういうことをしたのか。

(事務局)

博物館がどういうところかを調べに来た。

(委員)

遠い学校にも博物館を利用してもらいたいのので、マイクロバスのようなものを博物館が所有して、送迎に利用できないか。

(事務局)

基本的に市のバスを学校が利用することはできない。昨年度は油ヶ淵に近い明和小や丈山小の児童に展示を見てもらう博物館の事業という形で、文化振興課がバスを借用した。また、今年度から市のバスは、市の直轄ではなくなるので、そういった利用はさらに難しくなる。

(委員)

22頁の8について、この数字は人数だと思いますが、単位が書いてないので分かりにくい。来年は書いてもらえると良い。

(事務局)

単位が抜け落ちていた。今後は入れるようにする。

(委員)

出前授業について、古井町でのからくり人形の実演の850人はとても多い人数だが、文化センターのようなところでやったのか。

(事務局)

この人数は、実際にからくり人形を見た人数ではなく、古井町の「ふれあいひろば」という行事に参加した人数である。

(委員)

体験講座の自由研究相談会や歴博探検隊は、良いイベントだが参加人数が少ない。もっとPRして多くの子どもに参加してもらえると良い。

ボランティアの常設展案内について、他市の知り合いが利用してとても良かったという感想を聞いた。

(事務局)

今年も自由研究相談会や歴博探検隊を実施する。昨年の反省を踏まえて、学校を通じてチラシを児童に配るなどしてPRしていく。

(委員)

自由研究相談会は、歴史のことだけか。この題名だと他の分野も相談にのってくれると思ってしまっているのではないか。

(事務局)

説明文には、歴史に関することと入れている。昨年度も勘違いして来た人はいなかった。

(委員)

5頁の博物館の基本方針について、1個項目に「矢作川流域（西三河）を対象に」とある。この博物館の名前も「安城歴史博物館」であるから安城に関係していないといけなく感じるが、あまり安城にこだわると範囲を狭めてしまうと思う。どの程度こだわっているのか。

(事務局)

開館当初、安城のみにこだわると歴史説明が難しいこともあり、また周辺市に同様の施設がなかったこともあり「矢作川流域」に設定した。しかし、今では周辺市に同様の博物館・資料館ができ、共食い状

態になってしまうので、互いに連携をとるなどして調整している。例えば福釜にあったガラ紡を今調べようと思うと、もう福釜にはなく、松平の山奥に行かないと見られないので、この設定は今でも有効だと考える。

また、常設展のコンセプトは、安城を中心にその周辺までを取り扱っている。最近は展示の内容は多岐に渡っていてそれほど安城にこだわっていない。ただ、資料収集は、安城に関連のある資料に焦点を当てている。

(2) 平成27年度博物館事業計画案

【事務局説明】

(委員)

「わたしの見た戦争」に関して、このリストはすべて展示されるのか。召集令状や修身の教科書はないのか。

(事務局)

ほとんどすべて展示するつもりである。基本的に小さい資料が多いので、点数は多くなる。企画展なので基本的には本館蔵の資料を使うため、ないものもある。

(委員)

企画展ということは、造作をする予算がないから、戦時中の食卓の様子などを再現することは難しいということか。博物館の作業員に襖とか大掛かりな造作は作ってもらえないのか。

(事務局)

今回は資料を中心に展示したいので、造作物は考えていない。
また、昔は大工のような仕事をしてくれる人がいたが、現在はいないので難しい。

(委員)

戦争というどうしても男の子中心になりがちだが、テーマ的にも女の子の遊び道具等女の子に関係するものも入れる方が良い。

(事務局)

主人公は、安城高女の3年生の女の子である。農繁期の託児所の資料で塗り絵や人形など女の子の遊びも紹介していく予定。

(委員)

音楽に関連する資料もあるが、どのように展示するのか。私が子どもの頃には愛国行進曲などが今の流行歌のように巷に溢れていた。当時の雰囲気を出すのにそういった音楽を聞かせるようなことはどうか。

(事務局)

それは、昭和 5 年の紀元二千六百年記念の式典に関する資料である。こうした資料で子どもたちが式典に動員された様子を紹介する。音楽を流すということは考えていなかった。

(委員)

当時の人の語りとかは考えてないのか。今ではほとんど戦争体験を聞く機会がないので、語り継ぐことが大事だと思う。例えば現在の写真と戦争当時もっとも印象に残っていることを一言書いてもらったものを、展示の最後に並べるというようなことをすれば、市民とのつながりにもなるし、見に来た方も当時を思い出したりできると思うが、そういうことはできないか。

(事務局)

聞き取りをしていると、戦時中と戦後の記憶が混ざっていることも多い。今回は資料に沿って事実のみを取り扱っていきたい。時間的にもこれから写真と聞き取りをしていくことは難しい。

4 その他

【事務局説明】

(委員)

今回の図録が届いたのが展覧会が始まってから随分経ってからだった。オープンの時に図録ができてい
るなら、もっと早く送ってきもよいと思う。学校関係への送付もっと早ければ、先生たちに展示の紹介ができる。

(事務局)

送料を少しでも安くするために、なるべく配布物をまとめて送るようにしているので、遅くなってしまうこともある。しかし、これからは委員や学校関係には、早く送るようにする。

議事終了